



株式会社ATSH

代表取締役 FUJII ATSUSHI

藤井 淳志さん

スポーツと福祉、それぞれの価値を高める

が、セカンドキャリアでは年齢という形でハンディとなっていることが悔しく、何とかしたいと考えており、現役引退後の2022年に小中学生向けの野球スクール「ATSH SPORTS（アッシュスポーツ）」を立ち上げました。このスクールは、必ずプロ野球経験者が教えるというコンセプトのもと、小学校低学年の基礎から、強豪校を目指す中学生の本格的な育成まで対応できる指導体制を整え、元プロ野球選手にも野球の専門性で収入を得られる環境を提供することを目的としています。

プロ野球選手から 経営者へ転身

私は2006年から2021年まで中日ドラゴンズの外野手として野球界に携わっていました。野球界では毎年100名以上の選手が戦力外となりますが、引退後は野球で培ったスキルが他の職業に直結しにくいという現実があり、元プロ野球選手という肩書きが通用する仕事は決して多くありません。
私はプロ野球選手が築いた実績

就労継続支援事業に 進出する

以前、当社の野球スクールに通う生徒の保護者の方から、その生徒のご兄弟はダウン症を抱えており、「生まれた時から、スポーツに関わることは諦めている」という話を伺いました。ちょうどその頃、「就労継続支援B型事業所」を運営されている経営者の方と出会い、その話をしたところ「藤井さんなら、プロスポーツと障がい者を繋ぐことができるのではないか」と背中を押していただいたのです。そのご縁もあって、2024年に新たな取り組みとして就労継続支援B型事業所「ATSH RAINBOW（アッシュレインボー）」を立ち上げました。

スポーツと福祉の 架け橋になる

現在、「ATSH RAINBOW」のスポンサーや業務提携していただける企業を訪問し、当社の取り組みについて説明を重ねています。
今後の展望としては、アスリートのセカンドキャリアを支援する仕組みとして、当社が展開する福祉事業の現場で働きながら、野球への情熱を持ち続けられる環境を整備していく計画です。これにより、スポーツと福祉の両分野が相互に価値を高め合い、アスリート・福祉サービスの利用者・スポンサー企業の三者にとって有益なウィンウィンの関係を築いていくことを目指していければと思います。

Column 注目の特ピックス /

靴べら



中日ドラゴンズから折れたバットを提供いただき、当社で再加工して「靴べら」に生まれ変わらせています。福祉事業の就労者が木の磨き加工を担当し、売上から諸経費を除いた収益を就労者に還元しています。

Company Data | 会社概要



株式会社ATSH

〔創業〕2020年
〔所在地〕名古屋市天白区植田南2-1114
〔TEL〕052-710-4195
〔URL〕https://atsh4.com/
〔事業内容〕野球教室、就労継続支援事業



野球教室では、正しい知識と技術を伝えるため、ただ見た目だけ真似するのではなく、どう意識で取り組むかということも伝えています(写真上)。福祉事業(写真左下)では、スポーツチームと提携した就労に取り組んでいます(写真右下は就労者が磨いた中日ドラゴンズのボール)。

この施設では、中日ドラゴンズと業務提携を結び、就労者がプロ野球選手の練習や試合で実際に使用したボールを磨いたり、折れたバットを再加工して靴べらに生まれ変わらせるといった取り組みを行っています。就労内容にスポーツに関連する業務を取り入れている例は珍しく、障がいのある方々にとって、健常者のファンでは体験できない特別な関わりを提供できる場となっています。
そうした体験を通じて、自身の可